

令和5年度えひめ高等学校全国募集促進事業費補助金積算書

記入例

全区間自家用車利用
(月割高等学校を目的地に含まない場合)

1 申請者

フリガナ	エヒメ タロウ
申請者(生徒等)氏名	愛媛 太郎
フリガナ	エヒメ イチロウ
保護者氏名	愛媛 一郎

2 補助金額積算

月	日	区 間		自家用車 (交通)	有料道路使用料		
		住所地	～ 目的地	記入不要 (自動入力されます。)		記入不要 (自動入力されます。)	
8	19	東京都	～ 松山(バスツアー)	33,500 円	5,000 円	38,500 円	A
				愛媛県以外の地方自治体その他公的支援機関等から支給された同趣旨の補助金の額		該当があれば記入してください。	B
				(A-B)÷2(百円未満)		記入不要 (自動入力されます。)	C
				補助金額 (2万円とCのどちらか低い金額)		19,200 円	

プルダウンメニュー
から選択する。

《留意事項》

- 「区間」の欄について、「住所地」は在住都道府県名を、「目的地」は訪問した学校名を選択すること。
(例: 岡山県～三崎高等学校、兵庫県～上浮穴高等学校)
- 学校見学バスツアー参加者は、「目的地」について、学校名ではなく「松山(バスツアー)」を選択すること。
- 2校以上の学校見学会に参加した場合は、「目的地」について、住所地からの距離が最も遠い学校名を選択すること。
- 「有料道路使用料」の欄には、添付している領収書の合計金額を記入すること。

※ETCの利用証明書を日本産業規格A4でプリントアウトし、添付してください。

令和5年度えひめ高等学校全国募集促進事業費補助金積算書

記入例

自家用車＋船舶利用

(月削高等学校を目的地に含まない場合)

1 申請者

フリガナ	エヒメ タロウ
申請者(生徒等)氏名	愛媛 太郎
フリガナ	エヒメ イチロウ
保護者氏名	愛媛 一郎

2 補助金額積算

月	日	区 間		自 自 (交通費基準加算 照)	有料道路使用		
		住所地	～ 目的地				
8	19	東京都	～ 松山(バスツアー)	24,000 円	3,000 円	27,000 円	A
				乗船料及び車両航送料の合計		6,000 円	B
				愛媛県以外の地方自治体その他公的支援機関等から支給された同趣旨の補助金の額		該当があれば記入してください。	C
				(A+B-C)÷2(百円未満は切り捨て)		16,500 円	D
				補助金額 (2万円とDのどちらか低い金額)		16,500 円	

プルダウンメニューから選択する。

《留意事項》

- 「区間」の欄について、「住所地」は在住都道府県名を、「目的地」は訪問した学校名を選択すること。
(例: 岡山県～三崎高等学校、兵庫県～上浮穴高等学校)
- 学校見学バスツアー参加者は、「目的地」について、学校名ではなく「松山(バスツアー)」を選択すること。
- 2校以上の学校見学会に参加した場合は、「目的地」について、住所地からの距離が最も遠い学校名を選択すること。
- 「有料道路使用料」の欄には、添付している領収書の合計金額を記入すること。

※次ページに船利用の領収書(乗船料【本人】と航送料【保護者】)を貼付してください。
※ETCの利用証明書を日本産業規格A4でプリントアウトし、添付してください。

船舶利用領収書 貼付欄(乗船料【本人】+車両航送料【保護者】)
※重ならないように糊付けしてください。

令和5年度えひめ高等学校全国募集促進事業費補助金積算書

記入例

自家用車＋船舶利用
(弓削島への往來のみ船舶を利用した場合)

1 申請者

フリガナ	エヒメ タロウ
申請者(生徒等)氏名	愛媛 太郎
フリガナ	エヒメ イチロウ
保護者氏名	愛媛 一郎

2 補助金額積算

月	日	区 間		自家 (交通費)	有料道路使用料	
		住所地	～ 目的地	記入不要 (自動入力されます。)	記入不要 (自動入力されます。)	
8	19	東京都	～ 弓削高等学校	30,000 円	5,000 円	35,000 円 A
			「因島～弓削島」間、「因島～生名島」間又は「生口島～岩城島」間の乗船料及び車両航送料の合計			3,000 円 B
			愛媛県以外の地方自治体その他公的支援機関等から支給された同趣旨の補助金の額			該当があれば記入してください。 C
			(A+B-C)÷2(百円未満は切り捨て)	記入不要 (自動入力されます。)		19,000 円 D
			補助金額 (2万円とDのどちらか低い金額)			19,000 円

プルダウンメニューから選択する。

《留意事項》

- 「区間」の欄について、「住所地」は在住都道府県名を、「目的地」は訪問した学校名を選択すること。
(例: 岡山県～三崎高等学校、兵庫県～弓削高等学校)
- 学校見学バスツアー参加者は、「目的地」について、学校名ではなく「松山(バスツアー)」を選択すること。
- 2校以上の学校見学会に参加した場合は、「目的地」について、住所地からの距離が最も遠い学校名を選択すること。
- 「自家用車利用に係る定額」は、弓削高等学校が最も遠い目的地である場合は交通費基準別表2を、そうでない場合は交通費基準別表1を用いて記入すること。
- 「有料道路使用料」の欄には、添付している領収書の合計金額を記入すること。

※次ページに船利用の領収書(乗船料【本人】と航送料【保護者】)を貼付してください。

※ETCの利用証明書を日本産業規格A4でプリントアウトし、添付してください。

※学校見学バスツアー参加に参加された方は、様式第2号の1又は第2号の2を使用してください。

船舶利用領収書 貼付欄(乗船料【本人】+車両航送料【保護者】)
※重ならないように糊付けしてください。

令和5年度えひめ高等学校全国募集促進事業費補助金積算書

記入例

自家用車＋船舶利用

(複数区間(弓削島とそれ以外の区間)で船舶を利用した場合)

1 申請者

フリガナ	エヒメ タロウ
申請者(生徒等)氏名	愛媛 太郎
フリガナ	エヒメ イチロウ
保護者氏名	愛媛 一郎

2 補助金額積算

月	日	区 間		自家用車 (交通)	有料道路使用料	
		住所地	目的地	記入不要 (自動入力されます。)		記入不要 (自動入力されます。)
8	19	東京都	弓削	23,000 円	5,000 円	28,000 円 A
ブルダウンメニューから選択する。				「因島～弓削島」間、「因島～生名島」間又は「生口島～岩城島」間の乗船料及び車両航送料の合計		3,000 円 B
				上記以外の乗船料及び車両航送料の合計		3,000 円 C
				愛媛県以外の地方自治体その他公的支援機関等から支給された同趣旨の補助金の額		該当があれば記入してください。 D
				$(A+B+C-D) \div 2$ (百円)		記入不要 (自動入力されます。)
				補助金額 (2万円とEのどちらか低い金額)		17,000 円 E

《留意事項》

- 「区間」の欄について、「住所地」は在住都道府県名を、「目的地」は訪問した学校名を選択すること。
(例: 東京都～三崎高等学校、大阪府～上浮穴高等学校)
- 学校見学バスツアー参加者は、「目的地」について、学校名ではなく「松山(バスツアー)」を選択すること。
- 2校以上の学校見学会に参加した場合は、「目的地」について、住所地からの距離が最も遠い学校名を選択すること。
- 「有料道路使用料」の欄には、添付している領収書の合計金額を記入すること。

※次ページに船利用の領収書(乗船料【本人】と航送料【保護者】)を貼付してください。

※ETCの利用証明書を日本産業規格A4でプリントアウトし、添付してください。

※学校見学バスツアー参加に参加された方は、様式第2号の1又は第2号の2を使用してください。

船舶利用領収書 貼付欄(乗船料【本人】+車両航送料【保護者】)
※重ならないように糊付けしてください。

令和5年度えひめ高等学校全国募集促進事業費補助金積算書

記入例

公共交通機関・レンタカー利用

1 申請者

フリガナ	エヒメ タロウ
申請者(生徒等)氏名	愛媛 太郎
フリガナ	エヒメ イチロウ
保護者氏名	愛媛 一郎

2 補助金額積算

月日	交通手段	区 間	金 額
8月19日	バス	●●駅 ~ 羽田空港	1,000 円
8月19日	航空機	羽田空港 ~ 松山空港	15,000 円
8月19日	バス	松山空港 ~ ○○駅	500 円
8月20日	バス	○○駅 ~ 松山空港	500 円
8月20日	航空機	松山空港 ~ 羽田空港	15,000 円
8月20日	バス	羽田空港 ~ ●●駅	1,000 円
		~	
		~	
		~	
		~	

プルダウンメニュー
から選択する。

公共交通機関運賃等の合計	記入不要 (自動入力されます。)	33,000 円	A
愛媛県以外の地方自治体その他公的支援機関等から支給された同趣旨の補助金の額	該当があれば記入してください。		B
$(A - B) \div 2$ (百円未満切捨て)	記入不要 (自動入力されます。)	16,500 円	C
補助金額 (2万円とCのどちらか低い金額)	記入不要 (自動入力されます。)	16,500 円	

《留意事項》

- 「交通手段」の欄は、鉄道、バス、航空機、船舶、レンタカーのいずれかを記入すること。
- 「区間」の欄には、出発地と到着地の港・駅・空港・バス停等の名称を記入すること。
(例: 八幡浜港～別府港、JR松山駅～名古屋駅、松山空港～伊丹空港、松山市駅～東京駅)
- 領収書は、原則として、利用したすべての交通手段について添付すること。
金額、利用者、利用区間及び利用日時等の利用内容の詳細が領収書に明示されていない場合は、予約内容確認メールの写し等、利用内容の詳細が把握できる書類を添付すること。
- 現金による乗車券購入とICカード利用で定額料金が異なる場合等は、実際の利用状況に応じた金額を記入すること。

《対象となる経費》

自宅出発後に利用した交通手段の利用区間及び金額について、本積算書に記入すること。ただし、自宅から最寄り駅等に自家用車で移動した場合、自家用車で移動した区間及び自家用車で移動に要した経費(有料道路利用料、駐車場使用料等を含む)については、記入できない。

また、利用した交通手段について、経済的かつ合理的な経路及び方法ではない場合(不要な特別料金を伴う交通手段の利用、必要のない遠回りの経路を選択している等)、補助対象とならないことがある。

※経済的かつ合理的ではない場合の例

- 新幹線のグリーン車を利用 ○航空機のビジネスクラスを利用
- 広島県広島市在住者が、フェリーではなくJR(瀬戸大橋経由)を利用して愛媛県へ来県

公共交通機関等利用領収書 貼付欄
※重ならないように糊付けしてください。